

## 2012年7月の報告と、今後のお知らせ

### 2012年7月の報告

#### 7月17日(火) 伊賀地区 第2回バリアフリー調査

伊賀地区での第2回調査。この日の調査箇所は、

- ・旧小田(おた)小学校
- ・旧崇廣堂(すうこうどう)
- ・伊賀鉄道 上野市駅
- ・ハイトピア伊賀 の4箇所。

事前情報では、小田小学校と崇廣堂は古い建物のため、入口に段差があったりエレベーターもなかったりと、ちょっと手ごわそうなようす。しかし、「どこまで見学可能かを確かめるのが大事!」と、地元専門員さん6名(午後からは7名)と出かけました。

行ってみると…「建物入口までの階段を上がらなくてもよい場所に駐車場があったり」「入りやすい入口を特別に開けていただけたり」「崇廣堂には車いすトイレもあったり」と…おやおや、前回と同じく、「意外に行けるやん」という感想。

しかし、そういった情報がホームページなどでは全くわからないのが現状です。相談さえすれば、施設の方は快く対応してくださるだけに、残念ですね。

もちろん、そのような「ナマのバリアフリー情報」をまとめ、発信し、「バリアフリー観光といえば三重県!」というブランドを作ることこそが今回の事業。現状が整ってないほど、やりがいもあるというものです。



#### 7月24日(火) 松阪地区 第1回バリアフリー調査

7月は、松阪地区でも第1回調査を行いました。この日の調査箇所は、

- ・歴史民俗資料館
- ・御城番屋敷
- ・本居宣長記念館、旧宅 など。

おもしろかったのは、歴史民俗資料館でのひとコマ。

「入口に階段があるので、車いすの方の観覧は難しい」と事前に伺っていたのですが、調査中に館内の非常口を開けたところ、なんとそこには立派なスロープが!

おそらく、施設の方も、ふだんそこを出入口としては使っていないため、忘れていたのでしょう。また、非常口ですから、あんまり大々的に宣伝できるものでもないでしょう。

しかし、車いすの方が来館された時には、ここを利用してもらえば、観覧を諦めることも、同行の方に吊りあげてもらわなくても必要ありません。施設の方に「気づいてもらう」だけでも、私たちが調査に行く意味がある、と、しみじみ感じたできごとでした。



### 今後の予定

#### < パーソナルバリアフリー専門員研修 >

- ・9月 亀山地区

※専門員研修は、先の勉強会にご出席くださった方が対象となりますので、

アンケートにて参加表明してくださった方々へ、個別にご案内させていただきます。

#### < 各地調査 >

- ・9月 伊賀地区 第3回
- 松阪地区 第2回
- 東紀州地区・志摩地区 第1回 (予定)